

## 平成 29 年度 射水市防災会議 議事概要

1 日 時 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 13:30 ~ 15:00

2 場 所 射水市役所 201・202 会議室

3 出席委員 32 名 (35 名中)

### 4 議事内容

#### (1) 開会

- ・配布資料の確認

#### (2) 市長あいさつ (省略)

#### (3) 出席委員について事務局から報告

- ・委員 35 名中、32 名の出席があり、本会議が成立している旨の報告

#### (4) 防災会議 議事

事務局から、会長が議事進行を行う旨の報告

議案第 1 号 射水市地域防災計画の修正について

資料 1

資料 2

資料 3

【夏野会長】議案第 1 号について、説明を求める。

【事務局】(説明内容の詳細は省略)

- ・内閣府が作成する避難勧告等に関するガイドライン改定に伴う避難情報の名称修正
- ・平成 27 年国勢調査結果を踏まえた人口動態の時点修正
- ・平成 29 年 2 月に公表された県津波シミュレーション調査結果を踏まえた津波災害想定  
の修正 (資料 1)
- ・庁舎移転統廃合に伴う動員配備参集体制の修正
- ・気象庁が発表する大雨・洪水警報、注意報の基準の修正 (資料 2)
- ・水防法に関連する浸水想定区域内における要配慮者利用施設の見直し修正 (資料 3)

【夏野会長】ただいまの事務局からの説明について、意見、質問はないか。

(質疑なし)

【夏野会長】質問、意見等が無いようなので、議案第 1 号 射水市地域防災計画の修正について、承認の方の拍手を求める。

(全員拍手)

【夏野会長】拍手多数であり、議案第 1 号 射水市地域防災計画の修正については原案のとおりとする。

報告第 1 号 射水市指定緊急避難場所及び指定避難所の指定について

【夏野会長】報告第1号について、説明を求める。

【事務局】(説明内容の詳細は省略)

- ・指定緊急避難場所の新規指定 6件
- ・指定緊急避難場所の施設移転による住所及び収容人数の変更 1件
- ・指定緊急避難場所の名称変更 1件
- ・指定避難所の新規指定 2件
- ・指定避難所の施設移転による住所及び収容人数の変更 1件
- ・指定避難所の名称変更 5件

【夏野会長】ただいまの事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】射水市の沿岸部では津波の浸水が想定されているが、沿岸部は低地であり高い建物はあまりないと認識している。当該地区住民の人数に比して指定緊急避難場所の収容数は足りているのか？

【事務局】細かく区分すると若干避難施設が少ない場所があるが概ね足りている状況にある。射水市の津波浸水エリアは沿岸部の一部に限られており、津波に対する避難については、大きな揺れを感じたらとにかく浸水の恐れのない避難対象区域外へ出ることをまず第一としている。区域外へ出る時間がない場合は、指定緊急避難場所に行っているような近くの堅牢な建物の2階以上へ避難するよう、日頃からワークショップ等で住民には話をしている。今回、新しい想定を踏まえてハザードマップを更新することを検討しているが、津波避難のあり方について引き続き啓発を図っていきたい。

【委員】住民が住んでいる場所から避難施設まで何分かかるとい基準を市の方で示したりしているものなのか。

【事務局】地区ごとに避難施設まで何分ということ具体的に示しているわけではないが、津波避難の際に移動できる距離は1m/秒。1分で60m。5分で300mの移動を基本として避難を考えてもらっている。住民の方々には、地震が起きてから津波が来るまでの時間を踏まえて、遠くへ逃げた方がいいのか、高くへ逃げた方がいいのかを考えてもらい、避難先や避難経路をあらかじめ決めておくといった内容のワークショップに取り組んでもらってきた。

【委員】気象台の方でも、津波防災に関する様々な取り組みの中で、協力できることがあれば積極的に関わっていききたいと思うので是非声をかけて欲しい。

【夏野会長】その他に、ご意見、ご質問はないか。

(他に質疑なし)

報告第2号 平成28年度射水市防災対策事業について

報告第3号 平成29年度射水市防災対策事業について

【夏野会長】質問、意見等が無いようなので、次に、報告第2号と第3号について、一括して説明を求める。

【事務局】(説明内容の詳細は省略)

- ・平成28年度に実施した射水市防災対策事業の報告及び平成29年度の射水市防災対策事業について一括して説明。

【夏野会長】ただいまの事務局から説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】射水市沿岸部には観光施設が多数あり、そのうち海王丸パークや新湊マリーナなどは

一部津波浸水区域となっている。住民は津波の想定に関する情報や避難施設に関する情報をあらかじめ知っていても、観光客は知らない。先日開催されたタモリカップのバーベキューなどは、2000人あまりが参加していたが、今回の県の津波シミュレーション調査結果にあるように、最高津波が7分で到達するとなれば、これら2000人の避難がどうなるか懸念される。津波対策として避難先の案内表示や避難訓練の実施などについてどのような取り組みがなされているのか。また、先日高岡市で行われた弾道ミサイルを想定した避難訓練では、防災行政無線の放送が小さくて屋内では聞き取りづらかった。実際の緊急時の放送は最大音量で実施されると思うが、メールなどで知らせる仕組みなどもあればいいと感じた。そうした部分の対策についてはどうか。

【事務局】本市では沿岸部地域に公共施設が少ないため、津波避難先の確保の対策として、逃げ込むことが可能な建物を所有する民間企業等と協定の締結を進めてきている。また、新しく整備した防災行政無線は、沿岸部地域の屋外拡声子局にモーターサイレン機能を付加し、音声による放送だけでなく、サイレンでも津波の危険が迫っていることを伝達できるようにした。今後も引き続き、頂いた意見を参考にしながら津波防災対策に取り組んで参る。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

【委員】私自身、本江地区の住民なので、今ほどの津波対策に関する質疑応答は大変興味深く聞いていた。日頃から津波が来た際の避難先は東明小学校の屋上等かなと考えていた。さて、確認したい点は、風水害対策の中で「雨水ポンプ場・管渠等の整備」、「出水期における土のう配備」の項目があるが、平成28年度事業、平成29年度ともに同じ内容の記述となっている。同じ事業を継続して行っているということの理解で良いか。

【事務局】お見込みのとおり、継続的に進めている事業である。

【委員】もう一点、津波避難についてであるが、住んでいる者の実感として、どこにどうやって逃げるかということについて住民の中に浸透していなければ、計画の実行性が難しいと考えるが、その辺に関する取り組みがあれば教えて欲しい。

【事務局】県の新しい津波シミュレーション調査結果を踏まえて、今後、県はさらに「津波災害機械区域」の設定を行った上で基準水位を示す予定としている。市では、それらに基づき現行の津波ハザードマップ見直しを計画しており、そのハザードマップを使ったワークショップ等を通じて、沿岸部地域住民の津波避難に関する啓発を進めていきたい。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

【委員】市へのお願いとして発言する。富山地方気象台では、射水市の内川は高潮に関する要監視重点地区となっている。県内で最も注意が必要な地区と認識しており、適時適切に警報・注意報を発表していきたいと考えている。平成28年度事業の資料の中に、「内川高潮対策施設の整備」が挙げられているが、施設整備により、どの程度の効果・改善がみられたかというものがあれば教えて欲しい。後日改めて担当者から問い合わせをさせていただきたい。

【事務局】了解した。担当の方から資料等を準備して情報提供する。今後とも情報交換を密にしながら連携を図って参りたい。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

(他に質疑なし)

(5) その他質疑

【夏野会長】これで、本日の議題はすべて審議したが、全体を通じて、本日の議題以外の件で何か質問、意見等はあるか。

【委員】昨年、射水市防災士連絡協議会として組織を立ち上げ様々な取り組みを行ってきているが、まだ立ち上がったばかりで、市内の企業の防災の取り組みに対する実態をあまり分かっていない。今後の活動の参考としたいので企業のBCP策定状況について教えていただけないか。例えば日本海ガスではどうか。

【委員】BCPの取り組みは行っている。もちろん今後も継続して行っていく。

【委員】市の方の働きかけで何か取り組んでいることはあるか。

【事務局】近年、企業の防災・危機管理に対する関心は高まっており、年に数回ではあるが、出前講座等でBCPをテーマにした話をさせてもらっている。また事業所のBCPの策定に当たり、災害想定に関する事項等の相談に応じたりしている。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

【委員】東日本大震災で東北の方へ赴き活動してきた際に感じたことについて伺う。震災の発生が日中だったこともあり、家族が別々の場所にいたことで、避難所等で家族の安否確認に非常に時間がかかった。避難所等での安否確認に関する対策として何か取り組んでいることがあれば教えて欲しい。

【事務局】まずは住民の方々への啓発に力を入れている。災害時にどうやって安否確認をするのかということ家族でしっかり話し合っておくことを日頃から訴えている。例えばNTTが運営する「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話各社が行っている災害時の伝言板サービスの他、最近ではラインやツイッター、フェイスブックなどのいわゆるSNSサービスの活用が注目されており紹介をしている。また、避難所を開設した時の対策として、NTTとの共同事業になるが、東日本大震災の時にも実績があった「特設公衆電話」の設置などを念頭に置いている。

【委員】もう一点、大規模な災害となると各方面から緊急支援物資が届くことになるが、それらを集積・保管する場所は決めているのか。

【事務局】地域防災計画の中で記載しているが、新湊総合体育館等を物資の集積場所として決めている。ただ、過去の災害の教訓として、物資の集積場所はトラックの荷物の積み下ろしが容易な場所、フォークリフトが使える場所を拠点とした方が良いというようなことを指摘されている。市内の運送業者、倉庫業者からの協力が得られるような体制づくりも進めながら、物資の集積場所を手配できるようにしたいと考えている。

【委員】最後にこれは意見として発言する。先日8月20日の射水市総合防災訓練に参加した時に感じたことだが、「自助」、「共助」、「公助」のうちの「共助」の部分に関する訓練をもう少し取り入れれば良いのではないかと感じた。災害が大規模になればなるほど、自衛隊、消防、警察などのいわゆる公助が追い付かなくなる可能性が高い。公助とのつなぎとなる地域コミュニティの連携が重要だと考える。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

【委員】意見として発言する。7月に開催された避難所をテーマとした防災講演会は大変参考になった。また、市総合防災訓練においても、コミュニティーセンター内に設置されていた避難所ブースに「避難所のルール」が張り出されており、避難所運営のぼんやりしていた部分が具体的なイメージとして捉えられたと思う。住民は避難所へ行けば何とかなるといった思いを持って

いるが、そうではないということをしっかり啓発していかなければならない。衛生管理・感染症の問題、ペットの問題など、住民への啓発の機会を今後、更に増やしていけばいいのではないかと感じた。高岡厚生センターとしても、協力できることがあれば積極的に関わっていきたいと思うので是非声をかけて欲しい。

【夏野会長】その他に、意見、質問はないか。

(他に質疑なし)

他に質問、意見等が無いようなので、これにて本日の会議の全日程を終了する。委員各位には、熱心に審議いただき、また、多数の貴重な意見を賜り深く感謝申し上げます。今後も引き続き、射水市の防災・減災の取り組みにご理解・協力を賜るようお願い申し上げます。

以 上